

2022年3月5日開催「教員を目指す高校生のためのセミナー in 八戸」質問と回答
※いただいた質問に対し、文言を変えている部分があります。ご了承ください。

【質問1】

教育学部の中学校コース〇〇専修の人は、中学校の教師しかできないのでしょうか。高校教師にもなれますか？

【回答1】

多くの中学校コースの学生が、中学校と高等学校の教員免許状を取得して卒業しています。また毎年、高校教員になる学生がいます。

【質問2】

教育学部の小学校コースの人で、高校の教師になった人はいますか？

【回答2】

毎年1, 2名ではありますが、大学での学修を重ねる中で、小学校コースから高校教員になる学生がいます。また、多くの小学校コースの学生が、中・高の免許も取得しています。

【質問3】

現在は教育分野のICT化が進んできているのですが、これからはそういうものにも応じることができるような教師の教育へ変わるのですか？

【回答3】

弘前大学教育学部では2022年度から「教育におけるICT活用」といった授業を用意し、対応を始めています。ほかの授業でも授業の一部にICTを使用するなど、活用場面が増えています。

【質問4】

生徒の家庭問題などの解決不可能に思える問題に直面した時どのような行動を教師としてとるべきか参考程度に教えていただきたいです。

【回答4】

チーム学校という言葉があるように、子供たちの問題は学校だけの問題だけではなく、福祉や医療や司法などと連携しながら対応していくことが、これまで以上に大事になってきています。

【質問5】

教員採用試験対策はどのようなことをしているのですか。

【回答5】

教職支援室に現場経験のある教員を教職支援コーディネーターとして配置し、

進路相談、面接・模擬授業の練習、小論文・自己PR文の添削など、教員採用試験への助言を一人一人に対して行っています。

【質問 6】

弘前大学で教職専門の分野の資格が欲しい場合はその分野のみ1年生から取得し、勉強することは可能なのでしょうか？例えば小学校コースのサブコースも選択したい場合は4年の中でどのような割り当てになるのか知りたいです。

【回答 6】

小学校コースと中学校コースでは、2年生になったらサブコースに分かれます。サブコースによっては、1年生のうちから少しずつ専門的な内容を学ぶところもあります。

【質問 7】

なぜ小学校教員を選んだのですか

【回答 7】

学級担任として、子どもの成長を見たかったからです。また、中学校と高校の国語の免許はとったのですが、中学校の実習を経験して小学校のほうが自分に合っているなど感じたからです。

【質問 8】

部活動は先生がコーチをするものではなくなっているのですか？

【回答 8】

小学校では、保護者主体型になってきているので技術指導はしなくなっています。中学校では、まだ技術指導しているほうが多いと思います。

【質問 9】

一番大変なことは何ですか？

【回答 9】

短期的な結果だけでなく、中・長期的な計画を立てて、状況に応じて対応しながら行事や授業などを進めていくことが大変です。(あくまでも私はですが)

【質問 10】

教員をやっていてやりがいを感じた瞬間はなんですか

【回答 10】

子どもが成長していく姿を見た時です。

(勉強ができるようになった、悩みを解決した、行事でかっこよく見えた時など)